

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報 い ず み 第67号

発行／いずみ会 編集／いずみ会会報部

〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内

ホームページ <http://www.izumikai.com/>e-Mail izumikai@v7.com

※ホームページの閲覧や投稿をよろしくお願い致します。



いずみ会 HP

主 な 記 事

- 2・3 評議員会
- 4～7 母校
- 8・9 緑蔭
- 10・11 同期会開催報告
- 12 ホームページ投稿記事
- 13 会計部より・寄付者一覧
- 14 声・訃報
- 15 お知らせ
- 16 総会案内

「つながり」を「力」に

会長 荒井 眞理子



厳しすぎる暑さの夏を乗り越えられて会員の皆様にはお健やかにお過ごしのことと拝察いたします。いつもいずみ会へご協力賜り感謝申し上げます。さて、私たちを悩ませてきましたコロナウイルス感染症も第5類となり諸制限が緩和され、元通りの活動ができるようになりました。母校、いずみ会とも例年の行事が滞りなく行われ、9月には母校文化祭にも参加し、多数の皆様と触れ合うことができ、うれしい限りです。今月末にはホームカミングデー・総会・懇親会を通常の形に戻し開催いたします。総会は会員の皆様が一堂に集え、期を越えて会員同士がつながっていきける、大きな機会です。是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。また会場へお越しいただけない方もご意見や近況その他をお知らせいただければ嬉しいです。

いずみ会は会員一人一人がつながって、支えあい、育ててきた私たちの「ふるさと」です。青春時代に同じ空気の中で一緒に過ごした「場所」。会員相互の親睦と母校への支援を柱とした基本の姿勢と伝統を引き継ぎつつ、実家に帰ってきたような懐かしい感覚と時代の変化への対応も大事にしながら、より広く・深い活動を目指していきたいと思います。再来年にいずみ会は80周年を迎えます。今までのつながりを更に力に変えるように、理事一同、皆様とつながっていく事をより強く意識し、多くのお声に触れながら、今後の活動の指針としていきたいと考えます。来期は役員改選の時でもあります。皆で力合わせていずみ会を、ふるさとを大切に育て、守っていきましょう！

①総会の出欠・②住所変更・③人材バンク登録・④ご意見ご感想等は同封の返信ハガキの裏面あるいはHP返信ページ・e-mailにてご連絡ください

来年はいずみ会役員改選の年

いずみ会選挙管理責任者 山本 孝文

現在のいずみ会役員は、令和5年度末を以って任期満了となります。いずみ会役員（任期2年）は、いずみ会会員相互の親睦を図り、併せて母校の発展に寄与するため、理事会等の会合を通して、事業・予算を検討/策定の上、執行します。

次期役員候補者には、現在各期から選出された評議員の方、同期から推薦を受けた方が望ましく、特に若い期の方の立候補・推薦を大いに歓迎します。選挙要項は以下の通りです。

1. 次期いずみ会役員の選任は、来年度定時評議員会（令和6年5月もしくは6月開催予定）において行います。
2. 立候補届および推薦届の受付期間は、令和5年10月1日から令和6年1月31日までとします。
3. 立候補届・推薦届（電子媒体の場合、Wordで作成）は、下記事項を明記の上、第5項記載の送付先に郵送または電子メールに添付して、送信して下さい。ただし、記載もれがある場合、無効となることがありますので、ご注意ください。また、Faxによる受付はありません。
4. 立候補届・推薦届の受理確認は、令和6年2月中に実施します。
5. 送付先 〒174-0065 板橋区若木一丁目27-1-606
いずみ会選挙管理責任者 山本孝文
電子メール：ma.potto.1227@jcom.home.ne.jp

《届出に明記する事項》

- ① 立候補または推薦する役職名（会長・副会長・理事・監査役）
- ② 立候補または被推薦者本人の氏名・期・住所・電話番号・電子メールアドレス
- ③ 推薦届の場合には、推薦人の氏名・期・住所・電話番号・電子メールアドレス
- ④ 立候補または推薦の理由（200字以内）

※いずみ会役員選挙に関するお問い合わせ、ご相談は、上記いずみ会選挙管理責任者山本孝文までお尋ね下さい。

本年度総会

令和5年(2023年)10月28日(土曜日)

ホームカミングデー・総会（於母校食堂）受付開始 13:00～

懇親会（土間土間 大泉学園店）15:30～17:30

詳細は16面をご覧ください。

評議員会報告

事務局長 山川 新

5月27日(土)に令和5年度定時評議員会が大泉勤労福祉会館大会議室に於いて開催されました。各評議員に対しては、資料送付による案内(124名)、メールによる案内(259名)で合計383名に開催案内を行いました。結果として、宛先不明で開催案内が戻ってきた評議員の方が4名でした。期日までに返信のあった評議員は200名(出席予定者:61名、代理人及び議長委任者:143名)であり、当日の出席者62で委任状提出者を合わせて201名となり、いずみ会規約13条に基づく定足数128を満たしている事が確認さ

れました。評議員会議長に國谷俊之評議員(14期)、議事録署名人に戸田敏治評議員(46期)、太田榮評議員(75期)がそれぞれ承認されました。

第1号議案「令和4年度事業報告並びに収支決算報告」の報告があり、その後、監査役を代表して水野監査役からの監査報告を踏まえて審議され、賛成多数で議決されました。

第2号議案「令和5年度事業計画案及び予算案」について審議され、賛成多数で議決されました。

第3号議案「いずみ会規約の改正の件」

については、参加された評議員からの質疑に対して十分な審議回答ができず、審議保留の動議が提示されました。

報告事項として、今回の評議員会開催案内における返信状況について報告があり、19期以前の評議員全員に対して評議員継続の意思確認を実施する事、3人以下の評議員の期に対して評議員選出のお願いを実施するとの報告がありました。

尚、審議事項ではありませんが総会後の懇親会幹事は、「1の会」においてお願いする事としました。

第1号議案 令和4年度 事業報告

「いずみ会」はいずみ会規約に沿って、令和4年度事業計画に従い次の事業を実施した。

第1. 定時評議員会

いずみ会の最高議決機関である定時評議員会を令和5年5月27日(土)に大泉勤労福祉会館で開催した。上程された第一号議案;令和4年度事業報告及び収支決算の承認の件、第二号議案;令和5年度事業計画案及び予算案承認の件は承認。第三号議案;「いずみ会規約」改正の件は、審議保留。

第2. 理事会、監査会等の活動

令和5年度4月までの活動は、理事会を10回及び監査会を2回開催した。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 令和5年1月9日(月・祝)に「73期の20歳の集い」が企画され、参加者153名で開催する事ができた。
2. 成人式が中止となった71期生から同窓会を企画したい旨の連絡があり、令和5年3月12日(日)に同窓会(参加者:96名、恩師:5名)が行われた。

第4. 会報の発行、広報活動の充実

会報「いずみ第66号」を令和4年10月1日(土)に発行、新しい会費納入基準に基づき発送したが、郵便法に基づく規制により会員個々への個別情報を記載する事ができなくなった。

第5. 総会及びホームカミングデー

令和4年10月29日(土)に総会は、大泉勤労福祉会館で、会員51名、特別会員1名、役員18名、オンライン2名

の参加で、40期の香取 美智子氏の記念講演を行った。

第6. 財政管理

1. 支出は予算に対し1,267千円の減額となったが、母校80周年事業支援により前年度比124%となった。
2. 入会金は母校の協力を得られ172名の新会員が納入した。
3. 収入は予算に対し621千円の減収となり前年度比96%、年度収支は736千円の赤字となった。

第7. 会員情報の整備

「高校75期の名簿」を作成し、新会員へ配布した。

第8. 母校・PTAとの連携

令和4年10月3日(月)に母校創立80周年記念行事が校内で行われ、荒井会長が記念式典に出席したが、その後の祝賀会行事は中止となった。

第9. 人材バンク活動

令和5年2月18日(土)実施された中学III年生対象の職業講話に講師6名選出して、当日は5名の講師により講話を実施した。

第10. いずみ会創立80周年行事における企画内容

いずみ会規約の改正に則り10年ごと発行してきた会員名簿の発行は行わない事とした。

開催時期は令和7年10月の総会に合わせて実施する事を決定した。

以上

第2号議案 令和5年度 事業計画

第1. 定時評議員会

令和6年5月25日(土)の定時評議員会を開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月開催、監査会は年2回開催とする。
2. 評議員会出欠に対する返信状況を把握し、返信のない評議員の更なる見直しを図る。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 初めての同期会として「20歳の集い」を開催支援する。
2. コロナ禍で中断していた期の同期会開催を支援する。

第4. 会報発行、広報活動の充実

会報67号を令和5年10月1日目標に発行する。

第5. 総会及びホームカミングデー

総会・ホームカミングデーは、令和5年10月28日(土)に在校生との交流を図る場として開催を予定する。

第6. 財政管理

1. 会報発送費削減のため、会費納入実績に応じた限定発送を継続する。
2. 同期会、総会、評議員会などの場を通じて、会費納入・寄付を呼び掛ける。

第7. 会員情報の整備

高校76期の名簿を作成し、卒業時に配布する。

第8. 母校・PTAとの連携

1. 母校の発展に寄与するため、学校からの要請に迅速に対応し教育支援・部活動を支援する。
2. 文化祭等様々な学校行事の場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を広めていく。

第9. 人材バンク活動

1. 登録制度を活用して、多彩な人材を発掘し、卒業生の人材情報の充実を図る。
2. 会員相互の交流を図るような会員向け講話等のイベントを企画する。

第10. 役員改選の準備

令和6年度の改選に向けての準備を行う。

第11. いずみ会創立80周年行事(令和7年10月開催予定)における企画内容を検討

ホームページのリニューアル等スマホ画面への対応を検討する。

以上



◇ 高75期 評議員紹介 ◇

- | | |
|----|------------------|
| 1組 | 太田 榮、馬場 涼花、渡辺 帆美 |
| 2組 | 藤本 葉子、三ツ屋 大樹 |
| 3組 | 加藤 林瑚、高橋 朝陽 |
| 4組 | 吉野 有咲、戸田 一茶武 |
| 5組 | 日野 希美、松川 貴志 |

評議員会議題の全文については、ホームページ「お知らせ・評議員会資料」をご参照ください。



いずみ会HP

令和4年度 収支決算書

(自令和4年4月1日～至令和5年3月31日)

単位:円

【収入の部】

科 目	令和4年度実績
入会金	945,000
会費	1,293,000
寄付金	951,500
総会参加費	0
名簿関係収入	9,000
広告収入	93,600
雑収入	141,171
合 計	3,433,271

【支出の部】

科 目	令和4年度実績
総会関連費	67,747
役員・評議員会合費	211,798
広報費	1,816,757
会費関連費	460,696
会員情報関連費	45,222
母校連絡費	0
会員活性費	74,358
いずみ会室関連費	646,258
雑費	1,540
予備費	0
母校支援費	844,787
合 計	4,169,163

【収支の部】

項 目	令和4年度実績
当期収入	3,433,271
当期支出	4,169,163
当期収支残	-735,892
前期繰越金	13,490,666
次期繰越金	12,754,774

令和5年度 予算案

(自令和5年4月1日～至令和6年3月31日)

単位:円

【収入の部】

科 目	令和5年度予算
入会金	870,000
会費	1,240,000
寄付金	1,000,000
総会参加費	300,000
名簿関係収入	12,000
広告収入	100,000
雑収入	10,000
合 計	3,532,000

【支出の部】

科 目	令和5年度予算
総会関連費	400,000
役員・評議員会合費	250,000
広報費	1,900,000
会費関連費	210,000
会員情報関連費	65,000
母校連絡費	70,000
会員活性費	170,000
いずみ会室関連費	700,000
雑費	10,000
予備費	100,000
母校支援費	400,000
合 計	4,275,000

【収支の部】

項 目	令和5年度予算
当期収入	3,532,000
当期支出	4,275,000
当期収支残	-743,000
前期繰越金	12,754,774
次期繰越金	12,011,774

■会費納入の決まりは、

- ① いずみ会会員は、**年会費1,000円**を納入するものとします。ただし入会金納入者は、本会入会後7年目までの会費が免除されます。
- ② 会費免除の条件…年齢にかかわらず入会金を納入し、**累計45年分**の会費を納入した場合。ただし平成22年度分までは、全会員が会費を納入したものとみなされます。
また、令和元年度までに、満70歳に達した方、ならびに会費納入を完了された方を除きます。**(残りの年数を知りたい方は、izumikai@v7.comにて、会計部までお問合せください。)**

※なお、ゆうちょ振込手数料は都度発生しますので、**複数年分の納入**をお願いします。※**定額自動送金**は取り扱っていません。必ずご自分でお振込みをお願い致します。

■年会費の銀行振込による納金も可能です。

○振込先

巢鴨信用金庫 東武練馬支店 普通口座
口座番号 No.3228965 「いずみ会会計部長山本孝文」

○振込者名

(例) K300817 オオイズミ タロウ
必ずお名前の前にIDをつけてください。

○振込手数料はご負担願います。

■いずみ会を維持・発展させるために、今後とも会費の納入・寄付のご協力をよろしくお願いいたします。

会計部長 山本 孝文(高30期)
e-mail : izumikai@v7.com

母校の現況

校長 俵田 浩一



いずみ会の皆様方には日ごろより本校の教育活動にご支援・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度の学校の概況についてご報告いたします。今年度の東京都教育委員会からの指定は3つです。Global Education Network 20(2年目)、国際交流リーディング校、海外学校間交流推進校です。

この春の現役生の主な合格状況は、難関大学の東京大学2名、一橋大学の3名、東京工業大学3名をはじめとして国公立大学に40名、早慶上理に123名と昨年に引き続き進路実現の成果をあげることができました。

今年度は新型コロナウイルスの影響もほぼなくなり、通常の教育活動を実施しています。今年度の特色として、東京都教育委員会が国際交流活動を大きく推進しています。本校でもこれまで以上に国際交流の機会を推進していきます。7月10日には香港の高校生20名が本校を訪問しました。8月には、中学Ⅲ年生希望者によるニュージーランド姉妹校語学研修、高校1・2年生希望者によるオーストラリア語学研修を実施します。9月の文化祭期間中には、ニュージーランド姉妹校生徒20名が5日間本校生徒の家庭にホームステイを行う予定です。また、11月にはインドネシアの高校生が3日間本校を訪問する予定です。

東京都教育委員会が実施する事業については、次世代リーダー育成研修に中学校Ⅲ年生が4名合格、都立高校生を対象とした海外派遣研修には、校内選考を通過した4名の高校生を東京都教育委員会に推薦しました。

その他の行事については、4月に中学1年練馬フィールドワーク、中学Ⅱ年木更津クルックフィールズ、中学Ⅲ年都内課題発掘セミナー、高校1年生の福島探究合宿、5月には体育祭を実施しました。2学期には文化祭を一般公開する予定です。その他の宿泊行事も通常通り実施の予定です。

最後に、主な生徒の活躍についてお伝えします。8月に香川県で開催される全国中学校陸上競技大会男子400mに中学Ⅲ年生男子が出場します。また、8月に茨城県で開催される中学校硬式テニス関東大会に中学校Ⅱ年生女子生徒が出場します。

完全中高一貫化に向けて新しい大泉の歴史が始まっています。いずみ会の皆様にも引き続き、様々な面でご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

副校長あいさつ

副校長 小川 和寛



今年度より千代田区立九段中等教育学校より赴任してまいりました、副校長の小川和寛(おがわ かずひろ)です。

専門教科は国語で、大学では近現代文学を専攻しておりましたが、教壇で教えているうちに平安・鎌倉時代の文学にも非常に興味がわいてきました。機会があればその時代の文学についても深く学んでみたいと考えています。

また小学校時代は野球を、中学・高校はバスケットボールをやっておりました。その他のスポーツに関しても、やることはもちろん見ることも好きで、いつか本場のアメリカでプロバスケットボールの試合を観戦するのが夢です。

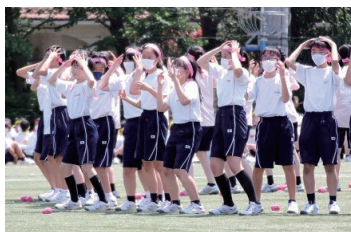
出身は品川区で、街頭インタビューなどでよく使用される、武蔵小山商店街の近くで生まれ育ちました。実家が精肉店を営んでおり、コロッケや牛肉などを好きなときに好きなだけ食べることができた幸せな少年時代を過ごしました。また、人気テレビ番組の『笑点』などで大活躍している桂宮治君は中学の同級生で、今でも時間があるときは彼の独演会に出かけることがあり、楽しいひと時を過ごしております。

まだまだ不慣れな点が多いかと思いますが、今まで培ってきた経験を生かせるよう、大泉でも一生懸命頑張ってまいります。今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。

母校創立80周年を祝う会

令和4年10月3日、母校創立80周年と附属中学校開校10周年を祝う会が開かれました。コロナ禍のため規模を縮小して式典ではなく、祝う会として実施され、生徒全員には記念誌と記念品(4色ボールペン)が配布されました。会場の多目的ホールには高3生のみが参加、あとは各クラスでリモートでの参加です。俵田校長の挨拶と校歌斉唱に続き、第2部では高21期卒業の池上彰氏による「21世紀の君たちへ」の講演があり、演壇の横断幕、生花は在校生も関わっての簡素化の中に温かい雰囲気の中となりました。

今年初めて"夏日"予報となった5月17日(水)、令和5年度体育祭が挙行されました。





佐藤先生 瑞宝小綬章受章 おめでとうございます

母校教壇で、また、柔道部顧問としてお世話になった、佐藤幸夫先生が瑞宝小綬章を受章されました。

柔道部OB会主催で7月1日に祝賀会が開催されました。

(祝賀会報告は11面)

教職員異動(敬称略)

【転出】()内は転出先

副校長	松田 晴美	(芦花高校校長)
国語	橋本 典子	(戸山高校)
物理	渡辺 大輔	(退職)
英語	鈴木 英之	(稔ヶ丘高校・定)
国語	若菜 勉	(光が丘高校副校長マネジメント)
数学	山口 貴史	(小石川中等教育学校)
保健体育	山田 憲永	(井草高校)
保健体育	野村 圭	(練馬高校)
英語	上野 洋平	(大泉桜高校)
家庭	渡邊 茉那	(小石川高校・定)
養護	渡邊 利恵子	(退職)
経営企画室長	障子 正晴	(生活文化スポーツ局)
経営企画室主事	柴田 若菜	(光明学園)

【転入】()内は前任

副校長	小川 和寛	(千代田区立九段中等教育学校)
化学	石井 彰人	(新規採用)
数学	森島 一貴	(南多摩中等教育学校)
保健体育	菊池 雄一	(江東区立有明中学)
英語	安齋 知里	(国立高校)
英語	北田 和吉	(調布北高校)
経営企画室長	高仲 秀和	(小山台高校)
経営企画室	大西 洋美	(都立学校事務支援員)

進路状況 主な大学への合格者数()内は現役生

【国立大学】39(34)

東京2(2)一橋3(3)、東京工業3(3)、北海道1(1)、東北1(1)、大阪1(1)、筑波3(1)、九州1(1)、金沢1(1)、東京農工3(3)、東京外語2(2)、東京学芸2(2)、電気通信1(1)、横浜国立5(5)、東京海洋1(1)、千葉3(2)、埼玉2(2)、静岡1(1)、帯広畜産1(1)、宇都宮1(0)、香川1(0)

【公立大学】6(6)

東京都立3(3)、福島県立医科1(1)、福井県立1(1)、都留文科1(1)

【大学校】4(4)

防衛医科1(1)、国立看護1(1)

【私立大学】680(637)

早稲田47(44)、慶応義塾19(17)、上智25(24)、東京理科41(38)、学習院13(12)、明治63(58)、青山学院19(19)、立教43(40)、中央25(23)、法政57(53)、成蹊25(23)、成城14(13)、明治学院6(6)、武蔵13(13)、日本38(35)、東洋36(35)、駒澤7(7)、専修10(9)、芝浦工業15(15)、東京農業15(15)、武蔵野13(13)、津田塾7(7)、帝京6(6)、国学院9(7)、日本女子5(5)、大妻女子4(4)、昭和女子5(5)、帝京平成6(6)、杏林4(4)、国際医療福祉4(4)、同志社1(1)

在校生の活躍

高校最後の大会で表彰台に！

高校3年の阿部優花さん、高校生最後の大会でも表彰台に立ちました。

☆高校1年生から自転車競技を始め、多くの方々のサポートを得て高校での競技生活を悔いなくやりきることができました。最初は全国大会への出場が目的でしたが、結果が出ると嬉しく、目標は全国1位へと変わってきました。何度も競技を止めようと思うほど練習はきつかったのですが、今では諦めずに続けて良かったと思っています。次の目標は大学でのインカレ優勝です。皆さんに良い報告ができるように目の前の壁を乗り越えていきます。今までの応援ありがとうございました。



(阿部優花)

(本記事は7月20日のいずみ会HPに掲載)

JasperNet開発で多数の受賞！

高校3年の佐々木俊輔さん、独自に開発をしたJasperNetが高い評価を得て、日本学生科学賞、高校生国際シンポジウム等での受賞を重ねています。



☆JasperNetとは、日本語発音時の顔画像解析を基にした読唇技術システムで、従来難しいとされてきた日本語の読唇精度を大きく改善できるものです。

本技術は、聴力障害者の支援、防犯カメラ映像の解析、騒音環境下での意思疎通等への活用が期待されています。

より効率的に発音を読み取れるように連日未明まで没頭してきた研究、受賞で暖かく見守ってくれた家族・友人に恩返しができたかな、と思っています。本技術はまだ通過点。可能性をもっと広げていきたい。(2023.2.16読売新聞記事より)

(本記事は3月1日のいずみ会HPに掲載)

日本パラ陸上日本新記録で優勝！

附属中学校Ⅲ年福田陽菜さん、4月開催の日本パラ陸上選手権大会で女子100m競技に出場、日本新記録を達成して優勝を飾りました。

(本記事は5月5日のいずみ会HPに掲載)

☆いずみ会HPでは、この他にも在校生の活躍を紹介していますので、是非ご覧ください。

合唱コンクール

2月16日に所沢ミューズホールにて、3年振りに校内合唱コンクールが開催されました。



職業講話

令和5年2月18日に附属中学Ⅲ年生を対象とした「職業講話」が5名の講師を迎え開催されました。講話時の配布資料など、当日の講演内容の詳細はホームページに掲載されていますので参照ください。



深沢 ゆな (高66期)
「考える」ということ
～クラウドエンジニアとして、一人の人間として～



今回、私は、比較的抽象的な内容で講演しました。もしかしたら物足りないと感じた生徒さんもいるかもしれません。しかし、これから先の人生を生きるためには必要なことだと感じています。「仕事を選び、社会人として生きる」と言うことは簡単です。「どのように」を教える(知る)機会を増やしていくことで、人生が楽しくなるのではと考えています。

今回の講演を通じて、私自身も考えを整理する機会を頂けたと感じております。同時に、生徒の皆さんが日頃どのように考えているのかを知ることができて、私自身も勉強させていただきました。誤解を招かないように説明することの難しさなども学ばせていただきました。

★「考える」ことにここまで深く考える機会が今まであまりなかったのですが、今回の講義を機会により考えてみようと思いました。「仕事を決める」のに、興味あるものを考える、色々な経験をする、といったイメージが無かったのですが新たな視点を知ることができました。「クラウドエンジニア」についても、もっと知りたくなりました。

★「考えるとは何か」という抽象的なテーマの下で、就職や勉強についての考えを聞かせていただき大変参考になりました。「決断」は勇気があることですが、自分の未来は自分で決め、何事においても嫌いにならず挑戦していくことができるようになります。

鈴木 章矢 (高64期)

「薬剤師って、どんな仕事？」～IT技術との関連も併せ



EBMとは「Evidence-Based Medicine」の略称で、「根拠に基づく医療」を意味します。その概要について病院編、調剤薬局編、DgS(ドラッグストア)編に分けました。第2章は薬剤師になるための準備。第3章は薬剤師とITとの関連について、調剤とIT技術、医療制度とIT技術の話をしました。

在宅医療やEBMの具体的な実践、薬の作用の仕組みやOTC薬の使い分けなど、大学で習う薬学の基本からセルフメディケーションといった現場で使える知識などお話したかったのですが時間の都合上できなかったものもあり、また機会がありましたらお話したいと思います。

★私はもともと医療系に興味があったのですが、薬剤師については良く知りませんでした。最も興味深かったのは能動的な薬剤師が求められていることで、私が目指している歯科衛生士でも歯科医についての業務が主で外国に比べると独立性は低いのです。薬剤師での変化が他の受動的になってしまっている職業にも広がっていくと良いなと感じました。

★最近はITも進み、ロボットが何でもできる時代になってきましたが、人の痛みや症状に寄り添い、相談や治療提案などがで

きるのは、専門的な知識を持ち合わせた薬剤師ならではの仕事だと思いました。人間だけにできることを誇りに思っているようにになりたいと思います。

佐野 毅彦 (高38期)

「スポーツ産業 How to monetize sports」



趣向を変え、「スポーツ産業:How to monetize sports」と題し、スポーツに関わる職業の将来について構想する機会の提供を意図した講話を行いました。中学生には難解だと理解しつつ、敢えて英語の副題を添えたのは「子ども扱いしないので背伸びしてみよう」という意味を込めてのことです。

講話では、「SPORTSではなく\$PORT\$の話をする」と前置きし、現在は過去の延長線上にあることから、データにもとづき、国内スポーツ市場の変遷について、また、その背景として、少子化・高齢化・人口減少に直面する日本の社会構造や国民のスポーツ実施状況の変遷について説明しました。字面からは退屈に感じられますが、生徒たちの認識とデータが示す現実との乖離が想定できたので、「えっ、そうなの!」と驚いてもらうことを意図した内容です。

VUCA (volatility, uncertainty, complexity, ambiguity) と形容される、変化が激しく予測困難かつ複雑で曖昧な現代社会では、現在と未来は不連続だと捉えるべきで、スポーツに関わる職業の将来を構想するためのヒントとして、商品としてのスポーツの多面的な機能・役割についても事例を交えて説明しました。

感想を読むと、多くの生徒が先入観・固定観念に縛られている自分に気づいていることに感動しました。実は今回の講話の隠れテーマが「先入観・固定観念を打破せよ」であり、メッセージがしっかり伝わっていたことに安堵し、優秀な生徒たちに救われた思いです。

★スポーツそのものをビジネスにするのではなく、スポーツに関わるもの、スタジアムでの広告や周囲の店、スポーツテクノロジー、街の活性化など、人々の欲求を解決しようとするときにビジネスが発生するといった、興味深い講演でした。

★固定観念に捉われて行動するのは危険で、最新のデータを見て世の中の傾向などを分析する必要があること、運動不足が原因の死者がコロナや喫煙による死者よりも多く、そのような困り事や欲求にビジネスが隠れていることを学びました。

高見 和彦 (高17期)

「総合職という仕事」～会社の柱としての役割～



中学進路キャリア担当の矢田先生とのメールでの打ち合わせのとき、タイトルを「総合職という仕事～会社の柱としての役割～」とさせていただくことになり、多くの生徒が選択するであろう総合職にスポットを当ててお話することになりました。

話の筋立てとしては、日本の生産年齢人口、就業者数、そのなかでサラリーマンとおぼしき人の割合、職業の種類分けを知

てもらいながら、総合職とはどういう役割を担っているのか、その求められる資質、能力はなにか、という内容を私の職歴を交えながら話しました。

最初にホワイトカラーの話、次にホワイトカラーと総合職の関係、最後に総合職に就く一人の人間として社会に出た時に大切なこと、という3部構成です。

生徒の皆さんには「社会人として知力はもちろん大事、でも挨拶と笑顔がとっても大切」と強調して締め言葉としました。私の力不足で、後輩の皆さんには社会人として大きく成長して欲しいという思いを十分伝えられなかったかもしれませんが、少なくとも私自身にとっては得がたい経験をさせていただいた貴重な1日でした。

★総合職という言葉聞いたこともなく想像もしていませんでしたが、総合職という人たちは日本の経済にとって大切で企業の柱だとわかりました。挨拶と笑顔を忘れないように社会に出ていきたいと思います。

香取 美智子 (高40期)

暮らしを豊かにする「インテリア」の仕事の可能性



北欧ではインテリアは「目的を達成するための仕組み作り」ととらえていて、「オシャレ」のため、「絵的な美しさ」だけを求めるのではなく「心を満たす」ことこそがインテリアコーディネーターの仕事です。

そのため人の心を扱い、自分の好きを見つける、たまには他人に興味を持つことが大切です。そして、名詞でなく動詞で考えるのが役に立つこと、自分が選択した人生を「正解」にすればよいと話しました。どこの大学に入学したら良いかばかりに目を向けるのではなく、大学および卒業後に色々な経験を積むことで、やがて目的の職業につくスタート地点は現れます。

★「闇を恐れるな」という言葉がとても印象に残っています。人生もそうだというのは少し難しいなと思いました。

★うつ病になった女性がたくさんの色に囲まれて回復した話に感銘を受けました。実際に北欧に行って現地の方の感じ方に触れてみたいと思いました

特別講話

らんまん

奈良女子大名誉教授 野口 哲子 (高20期)

植物に魅せられた分類学者と細胞生物学者

4月からNHK朝ドラで、植物分類学者の牧野富太郎博士をモデルにした「らんまん」が放映されています。放映前の3月21日に、牧野記念庭園(博士の邸宅の跡地)の写真が大泉高校の満開の桜の写真とともに、元同級生(高20期)から送られてきました。私は高校時代の放課後に、二度、牧野記念庭園を訪れています。木々の生い茂った暗い庭に私以外の人影はなくて少し怖かったこと、書物一杯の書斎に展示されたヤマモモのカラー植物画に心奪われたことを記憶しています。今思えば、牧野博士の“雑草という草はない”の思いを反映した庭園だったようです。

1968年に奈良女子大学理学部生物学科植物学専攻へ進学しました。生物教師の小川先生には、「日本史や国文学ならともかく、サイエンスを学ぶのに、なぜ東京を越えて奈良なのか?」と訝られましたが、植物生態学に興味を持っていた私は、入試で生態学の難問が毎年出題されていた奈良女子大学に興味を持ち、古都への憧れと親元を離れてみたい冒険心も加わって決めました。4年間で関東に戻るつもりが、今も奈良の近くにおります。

大学4年生の研究室配属の時、目指した植物生態学を断念しました。フィールドワークでは、女性の単独調査は難しいと感じたためです。代わりに、電子顕微鏡を用いた細胞学的研究を選び、これが私の天職となりました。奈良女子大学生物学教室は国立大学の理学部では最初に電子顕微鏡を設置し、恩師は、京大博士課程の時、日本で最初に植物細胞の電子顕微鏡写真を発表した人で、この研究分野の世界的パイオニアの一人でした。小規模な女子大学に着任し、女子学生は頼りないなどと嘆いては、ご自身の研究が進みません。目の前の学生を育てるしかないのです。大きな大学では想像できないほどのご指導を、教授になるまで受けました。そして、細胞内の精緻で美しい世界にどんどん魅せられていきました。研究と教育は無限大です。ひたすら走り続けた奈良女子大学での48年間(学生時代も含め)ですが、楽しく充実していました。

奈良女子大学の定年退職二年前から今年3月までは、奈良

先端科学技術大学院大学(NAIST)の監事、続いて理事を非常勤で務めました。高等女子師範学校を前身とし創立115年を迎える教育に強い奈良女子大学と、創立30年で最先端科学のすばらしい実績を挙げてきた研究に強い共学の大学院大学NAIST、対照的な二大学の運営に関与できたことも貴重な人生経験でした。そして、三年前から奈良女子大学同窓会(佐保会)の会長をしています。本同窓会は全都道府県に支部をもち、一般社団法人の組織になっているため、仕事量は膨大です。同窓生が寄付を募って建てた同窓会館(佐保会館:国の登録有形文化財)は母校の構内にあり、事務員二人と同窓会員の理事・会務委員が休日以外に毎日登館して仕事をしています。



出典:大泉高校20期HP

最後に、私の73年間で一番の大外れの話とを披露します。2020年9月に大学時代の動物学専攻の友人から、“NHKの朝ドラに「牧野富太郎の生涯」を”の署名を依頼されました。博士生誕の地・高知県佐川町の有志による署名運動でしたが、私は直感的に、研究にお金を使い果たして大家族を貧乏のどん底に突き落とし、妻を早逝させている博士の生涯はNHK朝ドラには適さず、採用されないと確信しました。東大植物学教室にとっては迷惑か歓迎かなどと気になり、署名用紙には私だけの名を記し、署名の輪を広げませんでした。ドラマ放映の決定に驚愕!そして、ドラマは大人気で視聴率No.1を保っています(6月末時点)。私自身、朝ドラは土曜日の一括放送を録画して見ていましたが、今回は、私の思考範囲をはるかに超える脚本家の才能に感嘆しながら、毎日楽しんでいました。また、植物学者として、植物のすばらしさをアピールいただき嬉しい限りです。牧野博士の郷里佐川町の熱い思いが生んだ成果で、“諦めない心”を学びました。

修学旅行・HR合宿の思い出

高
21
期

「修学旅行の思い出」

守本 純

編集後記に「修学旅行が楽しい思い出となりますように。宇宙に450冊しかないこのしおり、いつまでも大切にしてくださいね。」とあった修学旅行の小冊子「旅」を見ながら高校21期の55年前を思い出しています。昭和43年3月24日から28日まで、関西（京都、奈良）方面の旅行でした。ほとんどの中学校が修学旅行は京都、奈良だったので、最初はがっかりでしたが、非常に充実した旅行になりました。旅程を振り返ってみましょう。まず3月24日の0720に東京駅に集合、まだ3年目の新幹線「こだま」に乗車、米原駅下車後、彦根城、琵琶湖大橋を見学、比叡から京都に入りました。宿はなんと、史跡旧仮皇居、聖護院門跡の境内の一郭にある聖護院御殿荘に3連泊でした。9クラス450人の団体行動はここまででした。

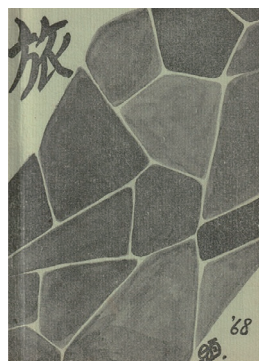
25日、27日の両日はクラスごとの行動で、京都は洛北、洛西、奈良は西ノ京、飛鳥の4か所に別れ、各クラスが2か所を選択するものでした。そして26日は複数人による京都市内のグループ行動。今では当たり前ですが当時としては画期的、大泉生が学校に信用されていたからでしょう。当初は複数（2人以上）で計画書を作成、グループごとに提出しましたが、流石、直前になって、「グループは3人以上」という指導が入りました。各クラスからは反発が起こり旅行委員経由で学校側と交渉しましたが、「もし、事故が起きたら、一人はその場で救護し、もう一人が救援要請に行かなければならない」と言われ、携帯電話もない時代ですから、学校側も生徒側も本音は違いますが、建前でお互い納得、大人の振舞でした。気の合ったグループでそれぞれの場所を歩き回り、京都の街を楽しみました。

25日の夜は夜間外出が許されました。中学校の修学旅行では新京極だけでしたが、大泉では烏丸通と河原町通、及び丸

太町通りと四条通の範囲で、やはり新京極周辺が中心でしたが広いエリアで自由を満喫しました。26日の夜はクラスコンパを存分に楽しみましたし、消灯後も実は羽目を外さない程度に皆楽しんでいました。その時の証拠写真など、懐かしい思い出です。

さてさて、当時の都立高校の修学旅行は都からの通達で「3泊4日」となっていました。我々の修学旅行も当初案では新幹線で27日に戻る、というものでした。しかし旅行委員と学校側のおかげで、4日とは96時間である、つまり3泊4日とは3泊96時間という理屈です。4日目の夜は宿泊せずに移動中である、その結果、東京へ戻ったのは28日早朝でした。なぜ可能だったか？帰路には昔ながらの、東京都中学校連合の計画輸送による修学旅行専用車両「ひので号」を利用したのです。27日1940に京都駅発、28日0503に品川駅到着、つまり24日0720に東京駅に集合してから96時間で帰ることができたのです。もちろん、京都駅を出てからは、ひので号車中ではクラスごと、車両ごと、あるいは入り乱れての徹夜のコンパでした。実際には朝の3時、4時には討ち死にも続出でしたが。

この冊子を見ると当時の思い出が泉のように尽きることを知りません。大泉時代、最も充実している季節でした。



↑ひので号車中での徹コン(徹夜のコンパ)
←修学旅行小冊子「旅」

高
31
期

大島の出来事を思い出す会を開いた 谷島 宣之

1メートル平米の小部屋に立てこもり、ひたすら耐えている。この程度のことでまさか死にはしないだろうが、そう思うくらいの辛さである。

「HR（ホームルーム）合宿について書いてください」との依頼を受け、情けないことをすぐに、しかも鮮明に思い出した。1977年10月中旬、合宿の場所である大島へ向かう船の中で猛烈に酔い、動く気力さえなくなり、大きな用を足す場所にずっと座り込んでいた。

このHR合宿は栄えある第1回目であり、28期から30期の先輩からは羨ましがられているようだ。ここに書きにくい理由で28期から修学旅行は取りやめになっていたが、31期の有志が学校と交渉し、HR合宿と銘打って2泊3日の旅行を復活させた。

したがって明るい思い出を書かないといけない。そうだ、取材をしようと、執筆を依頼してきた同期と44年ぶりに

会い、彼が最近祝賀会で会った同期女子3人からの情報もあわせて聞いた。せっかくなのでもう1人呼び、3人で「HR合宿を思い出す会」を開いた。

大島が選ばれたのは1975年に都立学校校外教育施設として大島セミナーハウスが建てられたばかりだったから。真っ黒な火山灰の上をぞろぞろと歩いた。合宿中に国語の清水先生のお子さんが生まれ、一報を聞いて皆で盛り上がった。ギターがうまい男子がロックバンドYESの曲を弾いた。夜は先生がしっかり見回り、女子の部屋へ忍び込んだ男子が敗走した。電気を消し、布団の中で同室の連中とトランプ遊びをした。帰りの船の中でNHKのヤング・ミュージック・ショーが放映され、ローリング・ストーンズのパリ公演を観た。

なんだか断片ばかりである。肝心のHRの御題は「男らしさとは何か・女らしさとは何か」ではなかったかと思いついたが他の2人は記憶にないと言った。

なお、HR合宿という名称はその後も使われていたが現在は海外修学旅行という立派な名称になっている。ただし高校2年のときに実施されるのはHR合宿と同じだ。



まんぽ会解散



「まんぽ会」解散いたしました。

2007年11月に練馬駅のお寺巡りから広徳寺への散歩を第1回目としてスタートしましたが、2019年12月6日の59回目を最後にコロナ禍での3年間は活動を休止していました。長いブレイクと高齢化ということもあり、一度けじめをつけましょうということで、この3月をもちまして活動を終わることにいたしました。本当に期を問わずに多くの会員の方々とあちこち歩き、知り合いになれたことはうれしい宝物です。昨年末に皆さんにお声をかけて、3月20日に24名の参加者で解散式を行い、長い間企画運営をしてくださいました高13期大高光蔵さんに感謝とお礼を申し上げ、懐かしい写真を投影、思い出話で盛り上がりしました。奇しくもこの会が60回目となりました。12年間にわたりいろいろなところを訪ねましたが、皆さん無事にケガすることもなく歩けたのは幸いなこと、素晴らしいことだとあらためて思います。それぞれの心がけの賜だと思います。たくさんの思い出をありがとうございました。まんぽ会はなくなりますが、皆様お元気にそれぞれ輪を広げていただけたらと切に希望いたします。今まで歩いた足跡の一覧はHPをご参照ください。(少しですが残りました金額はいずみ会へ寄付いたしました)



同期会開催のお知らせ

●高10期

日時：令和5年(2023年)10月10日(火) 12:00～
場所：アンジェロコート東京(Trad Mejiro3F)
会費：8,000円
*詳細はハガキにてご案内しています。

●高14期

4年ぶりの同期会、14期は「傘寿」を迎えます。皆でお祝いしましょう。
日時：令和5年(2023年)10月14日(土) 12:00～
場所：練馬区役所 20階 練馬展望レストラン
会費：7,000円
*詳細は別途ハガキにてご案内しています。

●高16期

コロナ禍により途絶えていた同期会(くぬぎ会)を4年ぶりに開催します。喜寿を迎えた皆様の多くの方のご出席を期待しております。出欠のご連絡がまだの方は、至急返信をお願いします。
日時：令和5年(2023年)10月16日(月) 14:00～17:00
会場：アルカディア市ヶ谷 私学会館・鳳凰の間
*なお、詳細についてはいずみ会ホームページをご覧ください。

●高20期

“青春を大いに語ろう”を合言葉に楽しいひと時を過ごしましょう。
日時：令和5年(2023年)11月10日(金) 12:00～
会場：池袋メトロポリタンホテル 3階 カシオペアの間
会費：8,000円 幹事代表 関屋 収

高5期 同期会解散のお知らせ

私も高5期は国民学校に入学した年に太平洋戦争がはじまり、集団疎開や戦後の教育制度の変化など戦争に青春を翻弄された学年です。今年米寿(88歳)を迎えるのを機会に同期会を解散しようと思います。皆さんに会える場がなくなるのは寂しいですが、夫々健康に留意して残りの時を楽しみましょう。手元に残った連絡費・準備金(79,794円)は同窓会いずみ会へ寄付いたしますのでご了承ください。

高5期幹事一同 代表 青山 喜彦

カンザキの家

無垢の木と漆喰で建てる

家を選ぶことは、人生を選ぶこと。

こだわりの標準仕様

- 「柱／ヒノキ・土台／青森ひば」
自然乾燥された四寸角。耐久性に優れ、防蟻・防蟻剤を必要なし
- 「窓枠・ドア枠・フローリング 全て無垢材」
枠材はヒノキが標準、フローリングは北海道産のタモ材が標準
- 「壁・天井／漆喰」
調湿性に優れ、静電気、カビ、ダニ、結露を抑える、不燃の自然素材

資料請求された方に「自然乾燥の無垢の木と漆喰で家をつくる」プレゼント!

新刊 神崎隆洋 著 神崎隆馬 著

大塚でわかつく! 自然乾燥ヒノキの良材! 神崎隆洋 著

https://kanzaki-architects.com

カンザキ建設 杉並区今川 3-20-5 TEL.03-3397-1150 HiNOX

同期会開催報告

高15期 同期会報告

令和4年(2022年)11月18日(金)に3年ぶりの同期会を原宿駅近くの水交会で開催いたしました。

コロナがおさまりを見せない中での開催でしたので、心配の向きからやむなく欠席された方もいらっしゃいました。突然の欠席やら飛び入り参加もあり、近年としてはやや寂しい40名の参加となりました。とはいえ、九州からの初参加もありました。いつもと同様に幹事代表から挨拶・乾杯ののち、立食形式で、飲み物と料理を携えて級友たちと交歓をしました。途中、現役ギタリストのお披露目もあり、事務局が用意した参加者の自己紹介を行おうとしたものの、だれも反応せず、大半の時間が懇談時間となりました。

約2時間半の一次会ののち、新宿へ場所を変え、なんと29名の参加のもと2次会を行いました。それぞれが語りたい相手ともろろの情報交換を行い、次回の再会を約束して散会となりました。

なお、今までは1年おきの開催でしたが、令和5年(2023年)3月が卒業後60年に当たりますので、ぜひ開催してほしいという意見も多く、開催の方向で準備をすることとなりました。開催時期は令和5年11月15日(水)の前後を予定して3年時のF組が幹事となり準備を進めることとなっています。



高13期 同期会報告

令和5年(2023年)5月18日(木)、帝国ホテルの一室で「傘寿+1」の同期会を開催いたしました。新型コロナウイルスの規制が緩和され、参加数は30名(当日急遽欠席1名あり)。



10年ぶり20年ぶりの出席者もある中、笠原氏の進行で、まず物故者に黙とうを捧げました。乾杯の音頭は矢谷氏。全員の集合写真撮影はなし。

近況報告では、弁理士業務を継続、孫同伴で海外旅行、英会話の本を出版、腹筋を使う発声で元気、明日は田植え、源氏物語の音読会運営、社交ダンス・生け花に親しむ、猫と楽しく暮らす、運転免許を返上、息子に事業を承継したが依然多忙など、多彩な日常が紹介されました。

また、特効薬の開発に意欲を燃やす人、それを支援する人、日本語をもっと大事にしようとする人、手術後元気に過ごす人、読書三昧で心豊かに過ごす人、「自由に生きろ」という師の言葉を大切にしている人、好き放題の人生だったと総括する人など、様々な人生を送っていることがわかりました。

「校歌」を合唱部OB岡本氏の指揮で斉唱、小松さんの中締めで前半を締めました。同時に、来年も5月第3木曜に開催することが告げられました。

後半も引き続きにぎやかな話の輪がいくつもでき、話は尽きませんでしたが「校友の歌」斉唱で締めくくりました。

高13期代表幹事 田中昇次

高18期 同期会報告

高校18期の同期会を、令和5年5月15日(月)に開催いたしました。

高校18期会は2年ごとに開催していましたが、新型コロナウイルス蔓延後は開催することができないまま約5年の月日が過ぎていきました。

しかしながら、今年の春頃から蔓延が下火となり、急遽、会を開催することにしました。コロナによる会場の使用制限が解けず月曜日の午後2時からの開催となり、当日は雨も降っていましたが、遠くは沖縄や関西から、卒業生の約1割の50名の方々が参加しました(会場は新宿の東京都庁・都議会地下の中華レストラン「芳蘭亭」)。出席者の皆様や、長年にわたり開催準備に携わってくれた幹事の方々に心からお礼申し上げます。

今回の18期会は、卒業生全員が後期高齢者となったことを踏まえ、テーマを『高齢者が今後も元気で楽しく生きる』とし、企画として、実技を交えた「動ける体づくりの指導」をフィジカル・トレーナーの田近妙子氏に行っていただいたほか、同期生作成の健康関連の資料も配布されました。また、卒業アルバムの写真を拡大したクラス毎の集合写真が掲示され、お互いの変貌ぶりに驚いたものでした。

さて、5年ぶりということもあり、会場は、飲み放題のお酒と美味しい中華料理も手伝って、大いに盛り上がり、心から楽しいひと時を過ごすことができました。



高8期 同期会報告

コロナ禍で中断していた同期会を3年半ぶりの令和5年(2023年)5月18日(木)に、ホテルメトロポリタン池袋25階のボラリスで開催しました。これまでは幹事一人が用意した案内状を一斉に送付していたのです



が、誰が、いつ倒れるかわからない年齢なので、今までの参加記録を参考にして各クラスの幹事がそれぞれの方法で連絡。会当日の3日前には出席申込者に体調の確認と日時と会場を間違えないようにと念押しの電話をかけました。間近にキャンセルが少しあったものの嬉しいことに参加者はコロナ前と同数の42名でした。

いつものように茂木さんの司会進行。乾杯の音頭、会食。会食後はクラスごとの現況報告、写真撮影など。

各テーブルに今後の8期同期会についてのアンケート用紙を配布して回収。何と56.8%の方があと1回開催を選択、しかも毎年を希望した票が3票も。あと3年で高校卒業70年だからそれまで頑張ろうという声も。

後期高齢者の8期生で、殆どの方が何かの病気と共存しているのですが、懐かしい友達と語らえばたちまち高校時代にタイムスリップ。最後に校歌、交友の歌を大声で合唱して、大泉愛に満ち溢れた素敵な3時間を過ごしました。

高8期 宇田川公子

高73期 「新成人の集い」開催

令和5年1月9日(月・祝)、高校73期卒業生の20歳を祝う「新成人の集い」を母校食堂で開催しました。

母校後輩の書道班、華道班が飾り付けを行った会場には、晴れ着に身を包んだ73期生・153人が、恩師を囲み久し振りの旧交を温めていました。



未だ収まらないコロナ感染下会場内での飲食提供はないものの、参加者は和やかな会話、クラスごとの写真撮影を楽しみ、閉会前の全員撮影では食堂の天井に頭がつかえるハプニングもあり、歓談は予定の時間過ぎまで続けました。

73期生の前途を祝福できた会でした。

なお、今回の開催にあたっては在校生の父兄の方々「おやじの会」の皆さんにもご協力いただきました。

高71期 同期会報告

令和5年(2023年)3月12日(日)、附属中学4期並びに高校71期の同期会を開催いたしました。

短い時間ではありましたが、100名近くの友人と、お世話になった5名の先生方と共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。今回の同窓会は、新型コロナウイルスによって中止となってしまった成人の集いのリベンジとしての意味合いもありました。無事開催出来たことを非常に嬉しく思っております。

4月から多くの同期が新社会人として新しい生活を始めることになります。また皆で顔を合わせ、近況報告の場として同窓会を開催出来ることを願います。

最後に、3年前の成人の集いから引き続き、今回の開催にあたっては、いずみ会の皆様には大変多くのお力添えを頂戴いたしました。

この場をお借りして御礼申し上げます。



佐藤幸夫先生叙勲を祝う会

日時：令和5年7月1日
場所：アイビーホール青学会館

昭和48(1973)年より63(1988)年まで、保健体育科教諭として、また柔道部顧問として我々卒業生をご指導くださった佐藤幸夫先生が、令和4年秋の叙勲において瑞宝小綬章を受けられました。これは、長年にわたる教育分野とくに教科柔道の指導実践と安全指導の普及活動におけるご功績が認められたものです。

今回の受章をうけて、薫陶を受けた柔道部、学年並びに臨海学校助教の有志が集って祝う会が開催されました。

発起人代表の27期荒賀康德氏による開会挨拶ののち、佐藤先生からご挨拶があり、ご自身の教員キャリアの絶頂期にあたる大泉時代の教え子に祝ってもらえることへの感謝の念が述べられました。開宴後、先生の周りにはお祝いを申し述べるグループがいくつも押しかけ、歓談と記念撮影が続きました。

記念品、花束贈呈ののち、29期加藤健次氏の中締めとなりましたが、氏のたつての希望で、改めて先生から「ご講評」を賜ることになりました。先生からは出席者の名前を出しながら、在学中や現在も続く交流エピソードが次々に披露され、軽妙洒落なスピーチに場内は大爆笑、さながら「佐藤幸夫独演会」の様相を呈しつつ、盛会のうちにお開きとなりました。「佐藤先生に喜んでもらえる会に…」を合い言葉に、準備を重ねて迎えた祝う会でしたが、結局は「佐藤先生のおかげで楽しませてもらった会」となりました。

先生、いつまでもお元気で、我々卒業生とお付き合い下さいますように。

(29期 大久保靖)



築根クリニック

東京都練馬区関町東1-22-11

TEL 03-3928-7868

<http://www.tsukune-clinic.com>

内科・放射線科
院長 築根 吉彦

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00~12:30	○	○	/	○	○	○	/
PM 3:30~ 6:30	○	○	/	○	○	/	/

職業講話講師 ご協力をお願い 人材バンク部

いずみ会では毎年2月に附属中学Ⅲ年生を対象とした職業講話を開催してきており、また、母校においては高校生を対象とした講座の再開も検討をされております。講師として皆様の更なるご協力が必要となってきております。

最近の在校生の多くは、データサイエンスやAIを含めたIT技術に関する分野や具体的な業務、医療分野、経済・経営関連などの学問系統に大きな関心があり、また、「仕事とは何か」「将来の仕事の探し方」についても広く聴講希望があると聞いています。

母校後輩のために、一人でも多くの方から豊富なご経験、最新の知識・情報を提供・紹介をしていただくことをお願いします。ご協力いただける方は15面「人材バンク登録のお願い」にてご連絡ください。

2022年(令和4年)いずみ会ホームページ、主な掲載記事の紹介

昨年9月以降も会員の皆さんから多くのご寄稿を頂きました。主な記事の掲載タイトルと抄録を紹介しますので、まだご覧いただいていない方は是非ご覧ください。



★エッセイ「9.11 アメリカの緩やかな下り坂の起点」

高27期 松井 正憲さん

日本経済新聞社ワシントン支局長として、2001年9月11日の同時多発テロ実体験された松井さん。同時多発テロの体験談、及び、事件前のブッシュ大統領、元空軍中将与とのインタビューを振り返り、アメリカで起こった大きな変化を解説していただきました。(2022.9.6掲載)

★「大泉高校の思い出」

高5期 荻野 史郎さん

在校時の音楽部で岡部先生の指導をうけられたことで今でも男声合唱を楽しまれておられる、米寿を迎えられた荻野さん、フジテレビで多くの企画を実現されてきたことも併せて思い出を綴っていただきました。(2022.12.1掲載)

★連載エッセイ「健康」Ⅰ～Ⅴ

高55期 柳沢 諭さん

理学療法士として活躍をされている柳沢さんから、5回に亘って「健康な体で、けがを予防してスポーツを楽しむ」を主テーマとした連載をいただきました。(2022.6.16～11.28掲載)

★コロナからの生還

中3期 小淵 哲夫さん

93歳とご高齢の小淵さんから、コロナ感染で入院された体験をお寄せいただきました。退院後はお元気に、毎日の作句・歌詠みを続けられておられます。(2023.2.15掲載)

★海外紀行「タイ紀行」

高30期 内田 智さん

コロナ禍が収まりつつあった2月、休暇でタイ旅行をされた内田さんの「タイ紀行」です。一般の旅行では行く機会のないミャンマーやラオスとの国境近くまで行かれた貴重な経験、目にすることのない風景を紹介していただいています。(2023.3.15掲載)

★連載「坂本成さん 作品紹介」

高15期 坂本 成さん

退職後に独学で精密油彩画を学ばれた坂本さんに、10回目の個展開催を機会にヨーロッパ諸国を廻られての作品を思い出と共に紹介しています。「坂本成さん 画廊」の連載は継続中です。(2023.3.13～掲載中)

★「高校生花生けバトル観戦記」

高20期 荒井 眞理子さん

今年も池袋サンシャインで開催された「高校生花いけバトル」、母校からは1チームが参戦し熱戦を繰り広げました。熱気に溢れる会場、競技の様子をレポートしていただきました。(2023.6.20掲載)

★牧野記念庭園を思い出しながら

高20期 野口 哲子さん

NHK朝ドラ「らんまん」の主人公・牧野富太郎博士と同じく植物学を研究されておられる野口さんに、牧野博士について、また、牧野記念庭園の思い出をお寄せいただきました。加えて、この夏フラワーハイキングに訪れたピレネー山麓の高山植物も紹介していただいています。(2023.8.9掲載)



松井さん「2000年のマンハッタン」



荻野さん「アイルトン・セナと」



内田さん「タイ・ミャンマー国境」



野口さん「カヴァルニーの巡礼路」

会計部より・寄付・広告提供者一覧

昨年度も多くの皆様に同窓会費・寄付及び広告をご提供いただき、まことにありがとうございます。今回お名前を掲載しましたのは、次の方です。

令和4年4月1日から令和5年3月31日の期間に寄付を頂いた方(終身会費を超えて振り込まれた場合は寄付として扱わせていただきました。)

*令和5年4月1日以降に寄付された方は次号に掲載します。

寄付者一覧(敬称略)

【中01】佐藤良矣、【高03】溝口皖司、五十嵐孝夫、小川陽弘、【高04】大平晃、仁科和雄、比嘉高、笠耐、佐々木健雄、【高05】田中房代、川津邦雄、武内延浩、大澤登、荻野史朗、石田要久、田中依子、大橋陽子、中嶋欣三、齊藤毅、【高06】村井淳一、太田育夫、柚原修、山口雄司、浜野章保、土屋雅春、村井淳一、平野和夫、佐野弘太郎、大沢輝夫、金子与一郎、【高07】荒川滋、新谷直道、久保田敏子、菅野信男、奥山悦子、【高08】島村敏子、浅野稠子、内田喜美江、下千恵、堤美穂子、阿彦靖子、杉浦五十鈴、宇田川公子、【高09】若井悦子、柚原美智子、清水信、鈴木美香子、山下泰子、松野治子、鎌倉悦子、【高10】太田路子、野口悦子、藍原寧、安藤肇、新井忠克、金沢健蔵、織田和子、大谷義彦、【高11】関根由喜江、新井春枝、匿名希望、【高12】川原範雄、阪本桂造、阿部弘子、白井秀道、井筒慶子、川原佳史子、【高13】高津幸一、小浜佐紀子、中本攻、田中昇次、安達宏鎮、関直樹、風祭一枝、百瀬武夫、高田勲、高山武生、【高14】鈴木健夫、大串康夫、國谷俊之、重松泰彦、梶原典子、伊倉富雄、久保田茂、布施百合子、早川希尹子、【高15】桑名晏子、渡辺浩通、野口定雄、石川文武、前久保博士、【高16】橋元宏、山本章、柳瀬正敏、飯島信枝、稲津由紀子、串道昭、【高17】間島憲治、堀江悠子、淡野保昌、能美卓爾、川上博司、豊島公治、佐藤貞子、【高18】岡崎章、上矢玲子、寺島孝、渡辺道子、富井利尚、【高19】竹内徹、高井潔司、増田孝次、井上みどり、小山雅文、橋本ゆり、田村明子、水野国雄、上杉直、匿名希望、【高20】遠藤隆久、三上恵只、甲元真人、藤井律子、後藤和光、登坂薫、乃美和夫、田中憲太郎、渡辺順子、Gresswell紀代子、山川長生、内堀真史、【高21】林賢二、田邊夏樹、大和田誠、【高22】花澤亮司、山之内裕、石田正一、【高23】保谷幹夫、木下直美、【高24】羽中田彩記子、松浦誠一、杉本幸枝、【高25】二上貴夫、井上礼子、山田由姫、高橋徹、永井宏、【高26】山本晃、加藤尚子、武井好三、上原正美、藤本吉彦、【高27】茂木敏夫、大久保高秀、土屋俊彦、【高28】藤崎英子、内島寛之、清水義裕、山口恭正、平井優、山田嘉彰、清水由里、【高29】笠浩一郎、【高30】石塚忠男、大島寛治、横川雅之、森山智子、堀正哉、大坪由佳、鎌田智彦、山本孝文、榊宣宏、【高31】矢崎千枝、高瀬浩和、関島勝巳、【高32】関根祥平、藤間芳郎、藤間千高、【高34】高松由起、【高35】沼田洋一、【高39】玉野洋一、【高40】伊藤勲、

【高42】森山法人、宇田川滋正、【高45】大和田真美、小泉博和、【その他寄付者】高校11期1E有志、(特別会員)野田敏夫、まんぽ会、高11期同期会

広告に御協力いただいた方(敬称略)

高18期	築根 吉彦	(築根クリニック)
高22期	田中 英一	(田中歯科クリニック)
	神崎 隆馬	(神崎建設株式会社)

■「会報いずみ」送付について

令和3年度(2021年度)から、会報の送付対象会員は以下のように設定されています。基本の条件は一度でもいずみ会費納入・寄付をされた方となります。(これから納入される方は次年度から送付対象となります)周りの方から「会報が来ない」と話があった場合にもこの条件をご説明いただき、会費納入を促していただけるとありがたいです。一人でも多くの方に「会報いずみ」が届きますようにご協力よろしくお願いいたします。

会報送付対象会員

- ①翌年度総会担当の期…全員(2023年度は「2」のつく期)
 - ②中1期～高13期…全員
 - ③高14期～高64期…会費納入、寄付の実績のある方(一度でも)
 - ④高65期～高75期…全員(会費納入対象年度に達していないため)
- ※2023年度から、高65期～高68期が会費納入対象者となります。
何卒、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■年会費の銀行振込による納金も可能です。

○振込先

巢鴨信用金庫 東武練馬支店 普通口座
口座番号 No.3228965

「大泉高校同窓会いずみ会会計部長山本孝文」

○振込者名

(例) K300817 オオイズミ タロウ
必ずお名前の前にIDをつけてください。

○振込手数料はご負担願います。

田中歯科クリニック 小児歯科

院長 田中英一
歯学博士

〒165-0022 東京都中野区江古田4-2-3
PHONE 03-5380-3640

声

★夫(フルート講師)の40年来のお弟子さんに校歌の作詞者、日夏耿之介のお孫さん(81才女性)がいます。校歌が大好きな私はいつもいろいろな思い出をかみしめながら歌っていますが不思議な縁を感じております。(高21期)

★青いけしの探索に、もう3年もいけないのが寂しくおもっています。ブータン・四川・雲南ヒマラヤが年々遠くなっています。(高10期)★10月はNPO活動のためネパールにまいります。(高9期)★会報を送付していただき、有難うございました。毎回楽しみにしています。卒業から長いこと高校とは距離をおいておりましたが、何気なく見たホームページ、同窓会の項目を見て、皆様の活動を知り43年振りに高校時代を思い出しました。同窓の皆様の多方面に亘るご活躍におどろくやら、誇らしく思うやら。私は遠く熊本から応援させていただきます。(高30期)★私は現在85才、小学校校長を最後に趣味の写真や卓球を中心に退職後の生活をエンジョイしています。母校の近くを通るたびに学校の様子を見させていただいています。現在の大泉高校は私達の在学校と比べるとすべてに恵まれているので、大変うらやましいです。これからも母校の発展を見守っていきたくと願っています。(高7期)★毎回、会報「いずみ」が届くと会員、現役学生皆様の元気な様子が感じられて、自分の励みともなります。就職を機に東京を離れ名古屋に定住したのでコロナ後?の同期会開催を楽しみに待っています。総会・交流会の成功を祈念いたします。(高26期)★いつもいずみ会の会報をご送付頂き有難うございます。昭和27年卒業の私で、あと半年足らずで90才になります。夜中に転んだため、雨で寒かったですが一生涯懸命整形外科へ行って参りましたら会報が届いており大変うれしくなり拙いペンをとったしだいです。いずみ会の発展をおいのり致しております。(高4期)★「螢のひかり」に送られてもう40数年となりとうとう古希を迎えました。“あの桜の太木”今もかわりませんか?もう一度巡りあい語りあいたい。(高23期)★コロナ収束が見えない中、幹事の皆様総会の準備ご苦労様です。盛会をお祈り致します。体調を崩して療養しております。「会報いずみ」楽しみにしております。昨春コロナ感染、2週間自粛生活ですみました。みなさまもお身体お大事になさって下さいませ(高15期)★会報を読み、若やいだ気分になりました。又昔の話も懐かしく読みました。小学校からこの土地で過ごしてきましたので、ずっとこの家で自立して生活したいと思っています。(高6期)★今年2月、前々から念願の白馬村の清流姫川を舞台とした『姫川の流るる村で』という恋愛小説を風詠社から出版しました。読まれた教え子や知人から感

動したという葉書やメールを頂いて、嬉しく思いました。(旧教員)

★多病で病院通いが続いています。あと一年で喜寿になります。それを目指して頑張ります。此の度「会報いずみ」をお送りくださいまして有難うございました。幹事のみな様ありがとうございます。(高16期)★大阪に住んでいるもので、いつもご無沙汰ばかりで申し訳ありません。現在もフリーアナウンサーとして働いております。在学中は演劇部に在りまして、今の交流は当時のメンバーばかりです。それもコロナのため、最近では会えていませんが。これからも皆様のご活躍と会の繁栄を祈っています。(高22期)★ドイツに住んでいます。メルセデスベンツで働いています。子供は2人います。コロナのせいで日本に行きたくても行けません。(高37期・母代筆)★年令では老人の部になりますが、ボーリングクラブ活動を楽しんでいます。庭木の手入れも、サビの出たトタン屋根の塗装も自分でやっています。卒業生の各界での活躍を知り母校に誇りにおもいます。会報編集部の皆様有難うございます。次号を楽しみにしています。(高9期)★会報を送っていただきありがとうございます。卒業生や生徒の活躍を誇らしく楽しく拝読しています。また、元の同僚や教え子の訃報には故人との交流エピソードなどを思い出しが冥福をお祈りしています。保険体育を担当し15年間勤務しましたおかげで今も皆様との再会を楽しませていただいています。末筆ですが、いずみ会と母校の発展、会員の皆様と生徒の活躍を心から祈念いたします。(旧教員)★大泉高校の思い出の中の「卓球部」を創設のコラムが一番嬉しかったです。田島さんのお陰で卓球部ができたのですね。ありがとうございます。第三学区の大会で団体優勝(女子)したのでした。(高29期)★いつも大変楽しみにしております。又内容も豊富ですばらしいです。孫が、大泉高校3年生付属中学2年生と2人入っておりますので、会報を見るのが嬉しいです。先月の文化祭も足を運びました。(高12期)★足腰弱くなりましたが、元気にしております。西武電車の車窓から立派な校舎を眺めて私の入学の時校舎のあまりの古さに驚いたことを思い出します。周りは畑でした。高校の増々の発展を願っております。(高6期)★去年より健康推進課栄養士から保育課栄養士になり、毎日、保育園給食作り、調理師、保育士との連携が大切と実感しています。実践力をつけたいです。(高35期)★駒澤大学を定年退職し、ようやく一年近くが過ぎて気が楽になりました。現在、東京都立大学以来の友人と、私の妹一人と一緒にイギリスのミステリーの翻訳を楽しんでいます。どうか事務局の方々お元気で過ごして下さい。(高18期)

皆様から寄せられた“声”の一部です。紙面の都合上掲載できなかった“声”はいずみ会HPにて紹介させていただきます。

追悼 ご冥福をお祈りいたします

2023年8月10日現在

■会員訃報(敬称略)

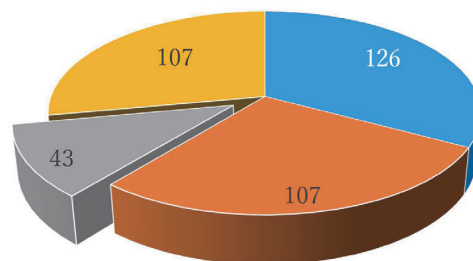
期	現姓	逝去	期	現姓	逝去	期	現姓	逝去
中学2期	市川 重雄	2016	高校8期	滝島 俊彦	2023. 1. 19	高校12期	岡野 武彦	2021. 10
高校3期	中川 誠一	2021. 10. 15	高校8期	岡本 正義	2020. 3. 15	高校12期	亀崎 昇	2022. 6. 10
高校4期	川尻 順一	2022. 8	高校8期	島田 恵造	2021. 10. 15	高校12期	杉山 啓介	2021
高校5期	河合 誠治	2023. 7. 3	高校8期	松本 英夫	2022. 10. 14	高校12期	江渡 正芳	2021. 5
高校5期	森木 宏	2022. 1. 18	高校9期	近藤 勝彦	2022. 6. 22	高校13期	唐沢 礼子	2023. 1
高校5期	萩原 一郎	2022. 10. 31	高校9期	清水 精二	2022. 8. 16	高校13期	唐沢 浩史	2022. 12
高校5期	朝比奈 健介	2023. 1. 20	高校9期	鶴田(大石)裕子	2022. 1	高校13期	竹内 延介	2022. 7. 16
高校5期	桶田 敏正	2019. 10. 6	高校9期	倉田(荻野)泰孝	2022. 8. 14	高校14期	島田(阿野)純子	2023. 2
高校5期	住本 敏	2022. 12. 9	高校10期	藤田 肇	2023. 5. 31	高校14期	鈴木 健夫	2022. 4. 24
高校6期	梅澤(田中)やよひ	2023. 5. 26	高校10期	植村 淑子	2019. 2. 5	高校15期	田辺 進三	2023. 7. 6
高校6期	山口 雄司	2022. 2. 4	高校10期	田所 満一	2021. 11. 29	高校15期	速水 洋志	2022. 8. 27
高校7期	畑仲 公夫	逝去日不明	高校10期	井上(小林)康子	2023. 2. 15	高校20期	中島 寛	2022. 11. 14
高校8期	藤野 八郎	2022. 10. 3	高校10期	阿部(植松)基子	2022. 6	高校20期	尾崎 彰夫	2022. 5. 27
高校8期	免取 捷二郎	2023. 3. 14	高校10期	本橋 達朗	2023. 1. 15	高校22期	水野 昌一	2021. 10. 21
高校8期	玉川 昭光	2020. 12	高校10期	高田 繁	2022. 5. 28	高校28期	遠藤(小山内)仁美	2022. 9. 25
			高校12期	花田 光一	2015. 5. 31	高校30期	秋田(石井)淳子	2022. 9. 22
			高校12期	高木 澄朗	2022. 11. 20	高校40期	井田 伸彦	2022. 11. 10

評議員の現状とお願い

令和5年度定時評議員会で報告しました評議員の現状につきまして、紙面をいただいて概要をお知らせします。昨年まで521名いました評議員の方は、規約の見直しにより5年以上返信のない評議員を解任して、今年は383名となりました。現評議員の年齢別内訳は、下記表に示しますように19期以前(75歳以上)が33%、20期～34期(60歳以上)が28%、**35期～54期(40歳以上)が11%(43人)**、55期以降(39歳以前)が28%となり、60歳以上の評議員が61%を占めています。特に40歳以上60歳未満の評議員の方が少ない事が、これからのいずみ会活動の課題点であります。この世代では評議員のいない期が36期、37期、38期、41期、54期で、1名の期が39期、42期、48期、49期と合わせて半数近い期で評議員1名以下になっています。

是非、同期会等の開催を検討し、同期の中から評議員を推薦していただけるようお願い致します。

令和4年度評議員数(383名)



■中01-高19 ■高20-高34 ■高35-高54 ■高55-高75

総務・企画部より

●同期会を開きましょう！

同期会幹事の皆様、いずみ会では同期会開催に際して以下のお手伝いをさせていただきます。

- ①宛名ラベルの作成 ②名札作成 ③名札ケース貸与
- ④同期会開催を会報・HPにておしらせ
- ⑤校歌・校友の歌音源貸与

特に、初めて開催される期にはご案内郵送費の一部を負担するサービスもあります。この機会に同期会開催を是非ご検討ください。ご相談はいずみ会窓口まで。

人材バンク登録のお願い

いずみ会では学校からの依頼を受け、職業講話に講師を派遣しています。皆様の経験と知識を後輩のためにお役立ていただき、後輩との交流を体験してみませんか？同時に会員相互の活動にもご協力をいただけるようにお願いします。

ご協力いただける方は、同封の返信ハガキ裏面にご記入いただき投函、もしくは、いずみ会ホームページ内「会報67号への返信ページ」への返信をお願いします。後日、人材バンク部よりご連絡を差し上げます。(6、7面に職業講話の様子を掲載しています。)

ホームページ・会報への投稿のお願い

いずみ会報、ホームページは会員相互の情報交換の場です。会員の皆さんの近況、身近な話題、イベント開催の案内等々、是非お寄せください。多数のご投稿をお待ちしています。

ご投稿は、izumikai@v7.comまで 又はいずみ会ホームページ「いずみ会への連絡」からお願いします。



●いずみ会文庫●

皆さまの著作を是非いずみ会文庫にご寄付下さい。皆さまからご寄贈いただいた書籍は、母校図書室「いずみ会文庫」コーナーで後輩たちに閲覧提供されています。いずみ会窓口へご連絡下さい。

不要ないずみ会名簿について

いずみ会名簿は個人情報ですので不要になった場合の処分に際しては細心の注意を払うようにお願いします。いずみ会では、下記の方法による返却も受け付けていますのでご活用ください。

- * 評議員会・総会へご持参ください
- * 宅配便・着払いにて下記へ送付ください

〒179-0076 練馬区土支田3-43-7
山川 新(会員情報部長)

編集後記

☆ここ数年来のコロナ禍も大分落ち着きつつあり、国内外を問わず人々の動きも盛んになり観光・飲食業界も活況を呈してきています。但し、コロナ前の市場規模には戻っていません。この要因の一つはコロナ禍の中業界から離れた人々が半分以上戻って来ないことのようにです。☆そんな状況のなかで我がいずみ会では昨年・本年多くの同期会が開催され又開催予定があり嬉しく思っています。会報にも実施報告・実施計画を記載しています。☆1頁にありますように「会員相互の親睦」「母校支援」を柱に今期も活動を進めたいと考えています。16頁に記載しましたが高校42期・52期・62期の皆さん是非同期会の開催をご検討下さい。☆会員の皆様同士の交流がより深まり心身豊かに元気で過ごされることを祈っております。

作った人：金子研一、浜田光、植村久、富井利尚、田邊夏樹、荒井真理子、小倉扶美子、古畑基樹

2023年度ホームカミングデー・総会・懇親会ご案内

未来を創る！ Navigation to the future!

と き：令和5年(2023年)10月28日(土)

ところ：ホームカミングデー / 総会 …大泉高校食堂&ピロティ

受付開始 13:00～

懇親会 土間土間 大泉学園店 15:30～17:30(会費3,000円)

*出欠その他のご連絡は同封の返信ハガキ裏面あるいはホームページより10月15日までにお知らせください。

今年度総会懇親会は「1の会」が担当です。21期生は1950年(昭和25年)20世紀の折り返し年の誕生です。一番若い71期生は20世紀最後の年から21世紀スタートの年の誕生、22世紀につながる未来を創るいずみ会生です。この間「1の会」の面々はそれぞれの激動の昭和・平成・令和の世界を目の当たりにし、学んできました。今年はそんな時代を同じく歩んできた「0の会」から「1の会」はその心を引き継ぎました。次は「2の会」へ、22世紀へつながる未来を創る人たちへ、つなげていきます。

「1の会」会長 植村 久 (高21期)
いずみ会会長 荒井 眞理子 (高20期)

高74期の皆様へ

来年成人式を迎えられる高校74期卒業の皆様、少々早めですがおめでとうございます。それぞれに充実した日々をお過ごしのことと思いますが、2024年(令和6年)1月8日の成人の日卒業から2年ぶりに一堂に集う「20歳を祝う会」を開きましょう！学校・PTA・同窓会いずみ会がバックアップいたします。2年ぶりに仲間と集い、お互いの成長や思い出を語り合いましょう。開催の詳細は74期幹事より12月にお知らせします。楽しい会ができますように！！

高42期、52期、62期卒業の皆さん！！

会報67号は、来年幹事期に当たる「2の会」の会員全員に郵送しています。皆さんは高校を卒業して15年、25年、35年になります。卒業してからなかなか顔を合わせる機会も少なく年月が流れていませんか？今、同期の皆さんは社会でどのような活躍をされているのでしょうか？これを機に皆さんで集まって友好を深めてみませんか。いずみ会では皆さんが集まる同期会を支援しています。もし開催する気持ちのある方がいれば、いつでも、いずみ会(izumikai@v7.com)までご連絡ください。

●いずみ会からのお願い●

返信ハガキ・会費払込票につきまして本年も総務省による「信書の送達に関する指導」により従来書式での同封が不可となりました。つきましてはお手数ですが、返信ハガキ裏面の住所変更届欄下のスペースに下記事項をご記入いただき10月15日までに投函ください。

①総会・懇親会への出欠 ②人材バンクへの登録 ③会報への読後感想等 ④ご意見ご希望

経費節減のためHP内「返信ページ」またはe-mail(izumikai@v7.com)もご利用ください。なお払込票に従来印字していました会費納入実績についてはいずみ会までお問い合わせください。

い ず み 会 窓 口

e-mail: izumikai@v7.com 総務・企画部

いずみ会へのご質問・ご意見・その他ご相談等気軽にお寄せください。

e-mail もしくはいずみ会ホームページから

いずみ会HP▶

